

今後も
多摩各地で
開催予定

こだま 

多摩に子どもシェルターを作る ～地域でおとなができること～

★第1部 児童相談所から見えてくる子どもたちの姿
矢崎新士さん（多摩児童相談所）

★第2部 弁護士の視点から見えてくる子どもたちの課題
中田雅久さん（弁護士）

★第3部 子どもシェルターとは何か
地域でできる子ども・若者支援
加藤雅江さん（ソーシャルワーカー）

★第4部 地域で大人ができることについて考える時間



子ども・若者センターこだまのホームページ



4月15日（土）
14:00-16:30

@三鷹市市民協働
センター

東京都三鷹市下連雀
4丁目17-23
JR三鷹駅より徒歩約15分

参加費：
資料代として500円～お気持ち
事前申込不要/定員100名
受付開始：13時30分

私たちが暮らす多摩地域には、
今晚安心して過ごせる場がない
子どもがいます。

子どもらしく育つ場がないから、
大人のように振る舞うしかない
子どもがいます。

「こだま」は、子どもたちが安心して
過ごせる場と時間を作ります。

子どもが、自分のことをかけがえのない、
ひとりの人間なんだと信じられるように、
子どもが過ごす場と時間を、
子どもたちと一緒に作ります。

こだまの運営に多くの方のお力添えを
お願いいたします。

主催 NPO法人子ども・若者センターこだま

後援：三鷹市・三鷹市教育委員会・武蔵野市
社会福祉法人子どもの虐待防止センター
東京三弁護士会多摩支部

この研修は麒麟福祉財団の助成により行っています